



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月8日  
東

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所  
 コード番号 9632 URL <http://subaru-kougyou.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 憲治  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 管理本部長 (氏名) 松丸 光成 (TEL) (03) 3213-2861  
 四半期報告書提出予定日 平成27年9月14日 配当支払開始予定日 平成27年10月15日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	9,740	△10.3	1,011	△27.6	1,029	△27.4	603	△29.7
27年1月期第2四半期	10,855	18.2	1,398	83.5	1,419	78.1	859	68.0

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 623百万円(△26.6%) 27年1月期第2四半期 849百万円(76.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	23.12	—
27年1月期第2四半期	32.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第2四半期	20,850	17,721	83.0
27年1月期	20,870	17,296	80.9

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 17,305百万円 27年1月期 16,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	3.75	—	6.25	10.00
28年1月期	—	3.75	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,600	△2.4	1,650	△7.1	1,680	△7.4	980	△7.2	37.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期2Q	26,620,000株	27年1月期	26,620,000株
② 期末自己株式数	28年1月期2Q	551,607株	27年1月期	479,391株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期2Q	26,117,373株	27年1月期2Q	26,147,291株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果により、引き続き雇用・所得環境の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れ懸念などの不安要素もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は97億4千万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は10億1千1百万円（前年同期比27.6%減）、経常利益は10億2千9百万円（前年同期比27.4%減）、四半期純利益は6億3百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

なお、経営の合理化と効率化を図る目的で、期中7月に連結子会社株式会社ビルメン総業が同北都興産株式会社を吸収合併いたしました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

道路事業：道路事業は、公共投資額は高水準で推移しているものの、前年に比べると減少傾向にあり、また、建設技能者の不足や、資機材価格の上昇リスクなど、予断を許さない状況が続きました。このような中、道路維持・補修工事において、原価管理を徹底し、積極的な技術提案や積算精度の向上等を図り、受注確保に努めたところ、おおむね順調な事業展開となりました。しかしながら、除雪作業の減少や、一部工事における発注や完工時期の後ろ倒しの影響により、売上高は82億1千3百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は10億6千1百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

なお、連結子会社スバル・ソーラーワークス株式会社において、兵庫県姫路市に3箇所目となる、的形太陽光発電所(0.90MW)を建設し、期中6月より稼働を始めました。これにより、3太陽光発電所(大塩第一・大塩第二・的形：出力合計3.08MW)がすべて完成し、順調に稼働しております。

レジャー事業：有楽町スバル座における映画興行は、期中12作品を上映し「ライアの祈り」「ラスト・リベンジ」などの作品は好評を博しましたが、その他の作品は低調な成績で推移し、売上高は前年同期を下回りました。

なお、期中4月にお客様の利便性の向上と劇場運営の効率化を図るため、劇場入口のリニューアルおよびチケット売り場の移設を行いました。

飲食事業は、各店舗において新商品の販売促進キャンペーンを行うなど、積極的な営業活動に努めましたが、イタリア料理ラ・ベルデ青山店が、期中6月に閉店した影響もあり、売上高は前年同期並みとなりました。

飲食物品の販売事業は、炭酸飲料類の販売は好調に推移しましたが、その他の高速道路売店商品などの販売が伸び悩み、売上高は前年同期並みとなりました。

マリーナ事業は、契約艇数が高水準で推移したことに加え、東京湾内最大規模のヨットレース「第7回スバルザカップ」、イーノの森Dog Gardenでの「イヌオリンピック」等のイベントが定着化し、多数の来場者による施設利用の結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は12億4千5百万円（前年同期比2.0%増）となりましたが、浦安マリーナの設備更新に伴う経費増加の影響などにより、セグメント利益は6千9百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

不動産事業：不動産事業は、吉祥寺スバルビルおよび新木場賃貸倉庫の空室率が改善されたことをはじめ、不動産賃貸物件が順調に稼働したため、売上高は2億8千1百万円（前年同期比18.4%増）、セグメント利益は1億7千5百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、未成工事支出金の増加、機械装置及び運搬具の増加等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ2千万円減の208億5千万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ4億4千6百万円減の31億2千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ4億2千5百万円増の177億2千1百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成27年3月12日に公表いたしました平成28年1月期通期の連結業績予想を修正しております。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,574,054	4,707,856
受取手形及び売掛金	4,077,664	3,301,626
有価証券	681,884	666,972
商品	85,270	79,393
未成工事支出金	442,594	767,100
原材料及び貯蔵品	89,848	101,146
繰延税金資産	77,475	72,241
短期貸付金	1,200,820	1,200,000
その他	167,015	174,160
貸倒引当金	△38,315	△31,959
流動資産合計	11,358,311	11,038,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,430,709	2,421,600
機械装置及び運搬具(純額)	729,299	1,622,368
土地	4,060,705	4,060,705
建設仮勘定	602,556	—
その他(純額)	124,360	130,762
有形固定資産合計	7,947,631	8,235,437
無形固定資産	31,410	27,469
投資その他の資産		
投資有価証券	135,011	140,700
繰延税金資産	53,968	53,533
差入保証金	822,721	830,009
保険積立金	406,714	403,418
その他	141,368	143,935
貸倒引当金	△26,146	△22,481
投資その他の資産合計	1,533,638	1,549,116
固定資産合計	9,512,680	9,812,023
資産合計	20,870,992	20,850,561

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,319,801	1,143,993
未払法人税等	593,459	401,850
賞与引当金	63,467	79,352
役員賞与引当金	11,550	—
その他	870,845	730,766
流動負債合計	2,859,123	2,355,961
固定負債		
繰延税金負債	9,975	23,358
退職給付に係る負債	164,777	181,795
資産除去債務	203,981	249,431
その他	336,972	318,109
固定負債合計	715,707	772,694
負債合計	3,574,831	3,128,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,057,028	1,057,028
利益剰余金	14,651,714	15,092,293
自己株式	△159,940	△191,502
株主資本合計	16,879,802	17,288,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,900	17,102
その他の包括利益累計額合計	11,900	17,102
少数株主持分	404,457	415,982
純資産合計	17,296,160	17,721,904
負債純資産合計	20,870,992	20,850,561

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	10,855,531	9,740,875
営業費用	8,880,572	8,091,891
売上総利益	1,974,959	1,648,984
一般管理費	576,731	637,167
営業利益	1,398,227	1,011,816
営業外収益		
受取利息	2,731	2,024
受取配当金	954	848
固定資産受贈益	6,192	—
その他	14,883	19,800
営業外収益合計	24,762	22,672
営業外費用		
支払利息	277	383
その他	3,694	4,441
営業外費用合計	3,971	4,824
経常利益	1,419,017	1,029,664
特別利益		
固定資産売却益	2,997	—
投資有価証券売却益	20,288	6,795
保険解約返戻金	918	10,417
特別利益合計	24,204	17,212
特別損失		
固定資産売却損	428	—
減損損失	—	2,769
投資有価証券売却損	521	—
投資有価証券評価損	—	10,000
抱合せ株式消滅差損	6,246	—
その他	—	3,500
特別損失合計	7,195	16,269
税金等調整前四半期純利益	1,436,026	1,030,608
法人税、住民税及び事業税	573,514	397,555
法人税等調整額	△13,414	14,519
法人税等合計	560,099	412,075
少数株主損益調整前四半期純利益	875,926	618,533
少数株主利益	16,199	14,574
四半期純利益	859,727	603,958



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	875,926	618,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,502	4,731
その他の包括利益合計	△26,502	4,731
四半期包括利益	849,424	623,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	840,552	609,160
少数株主に係る四半期包括利益	8,871	14,104

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	道路事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	9,396,771	1,220,878	237,881	10,855,531	—	10,855,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	361,564	34,960	396,524	△396,524	—
計	9,396,771	1,582,442	272,842	11,252,055	△396,524	10,855,531
セグメント利益	1,420,484	93,144	132,924	1,646,553	△248,325	1,398,227

(注) 1 セグメント利益の調整額△248,325千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	道路事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,213,472	1,245,835	281,567	9,740,875	—	9,740,875
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	352,752	37,297	390,050	△390,050	—
計	8,213,472	1,598,588	318,865	10,130,926	△390,050	9,740,875
セグメント利益	1,061,581	69,949	175,780	1,307,311	△295,495	1,011,816

(注) 1 セグメント利益の調整額△295,495千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。